

2011年6月

日本老年医学会会員各位

社団法人日本老年医学会
理事長 大内 尉義

ワルファリン使用患者における経腸栄養剤の切り替えについてのご注意

東日本大震災の影響により、経腸栄養剤の供給不足が生じており、経腸栄養剤を変更せざるを得ない状況が生じております。

「ラコール配合経腸用液」および「ツインライン配合経腸用液」（販売提携株式会社大塚製薬工場、製造販売元 イーエヌ大塚製薬株式会社）は、エンシュア・リキッド（発売元 アボットジャパン株式会社、製造販売元 株式会社明治）等の経腸栄養剤と比較してビタミンK含有量が高く、ワルファリンとの相互作用が懸念される。このため、急遽ビタミンK含有量を他の経腸栄養剤と同程度にした新規の製剤が発売されることになりました。

新規の製剤は「ラコールNF配合経腸用液」および「ツインラインNF配合経腸用液」です。7月より販売される見込みです。

- 1) エンシュア・リキッド等の経腸栄養剤から、現行の「ラコール配合経腸用液」および「ツインライン配合経腸用液」に切り替える場合
- 2) 現行の「ラコール配合経腸用液」および「ツインライン配合経腸用液」から新規の「ラコールNF配合経腸用液」および「ツインラインNF配合経腸用液」に切り替える場合

ビタミンK含有量が異なることによるワルファリンの相互作用の差異が生じる可能性が否定できません。

つきましては、ワルファリン使用患者において経腸栄養剤を切り替える場合、経腸栄養剤のビタミンK含有量をチェックすると共に、切り替え初期には血液凝固能検査を適宜実施し、十分な血液凝固能管理を行い、ワルファリン投与量の設定にご注意いただきますようお願いいたします。